



- 🕒 開催日時 2019(令和元)年 11月4日(月・祝) 13:30~16:45 交流会 16:55~18:00
- 📍 開催場所 中原区役所 5階会議室
- 👥 参加者 119名 他 33名(事務局、コンサルタント等) 計 152名
- 📋 内容 川崎市のコミュニティ施策(まちのひろば)について
 - 第一部 講演会「地域とコミュニティのこれまでとこれから」
 - 講師：首都大学東京 饗庭伸教授
 - トークセッション
 - 饗庭伸教授 × 地域活動団体 × 福田市長
 - 第二部 「まちのひろば」の開き方
 - ①町内会・自治会 × 地域活動
 - 稗原ゆ〜ず連絡会 川田和子代表
 - ②防災 × マンションコミュニティ
 - パークシティ溝の口自治会(溝の口減災ガールズ) 山本美賢会長
 - ③高齢者 × 地域の輪
 - かないばら苑 依田明子苑長
 - ④若者 × 居場所
 - 東北芸術工科大学(川崎ワカモノ未来 PROJECT 1期生) 川合佑汰さん
 - ⑤自由な発想 × 「まちのひろば」
 - 川崎市職員プロジェクトチーム

分科会の全体振り返り

📊 アンケート結果 (回答者 54名)

1 性別

性別	人数
男性	20
女性	33
無回答	1

2 年代

年代	人数
10代	1
20代	4
30代	9
40代	10
50代	18
60代	5
70代	7
80代以上	0

3 活動エリア(複数回答可)

活動エリア	人数
川崎区	8
幸区	12
中原区	12
高津区	11
宮前区	14
多摩区	11
麻生区	5
川崎市外	11

4 イベント情報の入手方法(複数回答可)

入手方法	人数
市政だより	3
市広報掲示板	7
区役所等にあるチラシ	11
職員からの案内	32
その他	8

5 満足度

満足度	人数
大変良かった	15
良かった	26
普通	9
あまり良くなかった	5
良くなかった	0
無回答	4

約75%の方が「大変良かった」「良かった」と回答

6 「まちのひろば」の理解度

満足度	人数
大変理解できた	6
理解できた	31
普通	10
よく分からなかった	3
全く分からなかった	1
無回答	3

7 講演会

満足度	人数
大変良かった	14
良かった	25
普通	11
あまり良くなかった	2
良くなかった	0
無回答	2

8 トークセッション

満足度	人数
大変良かった	10
良かった	19
普通	15
あまり良くなかった	5
良くなかった	0
無回答	5

9 分科会

満足度	川田代表	山本会長	依田苑長	川合さん	職員 P J
大変良かった	9	9	9	10	14
良かった	10	4	5	3	12
普通	4	0	2	1	2
あまり良くなかった	0	0	1	0	0
良くなかった	0	0	0	0	0
無回答	2	0	0	1	2

10 本日の感想や次回のイベントへのアドバイス等

- ・生まれてから20年、ずっと川崎に住んでいますが、まだまだ知らないことがたくさんあること、そして、もっと川崎をよくしようと活動されている方がいらっしゃるのだと知りました。とても面白く、楽しい半日でした。
- ・市職員の方の取組が良かったです。プロジェクト内容や市民が活用可能な資源など、ぜひ積極的に情報公開していただきたいです。
- ・市や区役所、企業、町内会・自治会など、色々な機関同士の連携が、これからのまちづくりには必要であることが分かりました。お休みに貴重な話を聞かせていただき、ありがとうございました。
- ・分科会が面白かったです。もっとゆったりと深く話を聞ける機会に期待しています。
- ・若者からベテラン指導者まで、幅広い方々の事例を聞いて良かった。
- ・障害・福祉分野で働いています。依田さんがおっしゃっていたようなことが良く分かりました。今の地域包括ケアとして動いていたこととどうリンクするのか、させていけるのか、課題と感じます。
- ・「まちのひろば」に関わる行政の部局間の連携・協働を進めていただきたい。
- ・それぞれ活動されている団体なので、しっかり目標を持っていることが分かった。市職員の若手の皆さん

が頑張っており、頼もしく感じた。多くの職員に理解をしてもらい、メンバーを増やしてほしい。

- ・ぜひ、具体化していきたいです。
- ・老若男女の意見が聞けるととても良い機会だった。川崎市のためにできることを考えたいと思った。
- ・色々な取組を聞く機会ができて、とても面白かったです。
- ・市などの行政職員の方々や実際に活動しているの方々からお話を聞く機会を得られたので、とても有意義な時間でした。これからも開催して欲しいです。
- ・もっと他の分科会も回りたいと思うほど参考になりました。
- ・「まちのひろば」が抽象的概念のままでした。既存の活動団体とのつながり、関係性も課題になると思います（一般市民の意識への浸透はもちろんのこと）。
- ・イベントや取組はとても素晴らしいと思いました。この取組が広がったり、継続するための方法や、自分事としてどうしたら思えるのか、一緒に考えていきたいと思います。
- ・高齢化・人口減少のその先に明るいものを見せていただいた。まちのひろば＝ひらかれた場所ということだったので、物理的にも心理的にも開かれた場所、どうしたら垣根を作らずつながれるか、これから学んでいきたいです。
- ・様々な方々がそれぞれにまちを盛り上げていく。これからますますまちを盛り立てていくということが、多面的に深く理解できました。
- ・トークセッションは必要だったのでしょうか。市長にご参加いただくには、このパターンになるのかと思いますが…。時間的にとてもタイトでした。マイクの調子なのか話し方なのか、聞き取りにくかったです。
- ・マイクの声がこもって聞きづらかったです。
- ・市長の声ははっきり聞こえましたが、他の方のマイクの音声が聞き取りにくかったです。
- ・建物が古いせいか、音響効果が悪く、聞きたいことが福田市長以外はとても聞きづらく残念だった。区の若手プロジェクトチームが1年限りなのは残念だ。
- ・声が聞き取りにくかったです。アンケートの性別欄に「その他」をお願いしたいです。
- ・マイクの音が聞き取りづらかったです。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・マイクの不調が残念でした。
- ・全体の司会の声が通りにくく、聞きづらかった。全体会よりも分科会の時間をたくさん取って欲しかった。市職員チームがまちのひろば検討委員とつながったら強みになる。
- ・音が悪く、聞き取るのに注意が必要だった。ご高齢の方がお困りでなかったか心配になりました。会場の左前方からカランカランという空調音(?)が気になりました。
- ・全体会のマイクの声が少し聞きづらく残念。分科会のお話を2つしか聞けなかったのも残念でした。
- ・聴覚障害を持つ人への対応がほしい。聞きにくかった。講演を聞くのが目的でしたが、会場の参加者の声が入り、聞きにくかった。分科会を先にして、まとめを講師講演がよいのでは？
- ・時間配分等に工夫が必要？
- ・分科会の時間が短く、消化不良気味である。
- ・分科会での意見交換の時間がもっとあると良かった。
- ・「まちのひろば」について、もう少し考え方を聞きたかった（目指すところ、やりたいこと、何のために必要か…など）。分科会は時間が短く、トークセッションは散漫に感じた。
- ・質問時間がもう少し欲しかったです。
- ・空地进行をくうちと言うことを知った。市長が言った「これからは地域のためにならない企業は残れない」実感。質疑応答の時間をもっと取るべき。飲み物を用意してください。
- ・進行管理は時間厳守をお願いします。

「区における行政への参加」についてのアンケート

11 関心のあるテーマ(複数回答可)

テーマ	人数	テーマ	人数	テーマ	人数
安全・安心(防災含む)	19	環境	11	子ども・子育て	18
区の魅力	12	スポーツ・文化	8	福祉	16
健康	7	地域活動	24	つながり・交流	23
地域人材育成	15	区の予算・計画	2	その他	3

※その他…おやじの地域デビュー、老後の居場所、働き方・ひきこもり・教育・男女共同参画

12 対話の相手方(複数回答可)

対話の相手方	人数
関心のあるテーマで活動している人	38
異なるテーマで活動している人	16
そのテーマの専門家	29
その他(関心はあるが活動していない人、行政職員)	2

13 参加のきっかけ、モチベーション(複数回答可)

参加のきっかけ、モチベーション	人数
新しい発見がある	32
知識が増える	23
関心のあるテーマである	33
新しいつながりができる	28
自分が発言したことが実現できる	6
報酬がもらえる	5
その他	2

※その他…自分が楽しい、自分が役に立てる

14 活動の際、行政からの情報提供内容(複数回答可)

情報提供内容	人数
他の活動団体	16
課題や困りごとの情報	19
課題の解決事例などのノウハウ	29
資金助成	17
広報できる媒体	18
その他	3

※その他…自分が楽しい、自分が役に立てる、活動の始め方・参加の仕方

15 ご意見・ご感想等

- ・積み重ねた市民の活動を活かして、新しいコミュニティづくりを目指したい。
- ・区民会議とは異なる新たなスタイルの機会を期待しています。
- ・市政や区政についての知識がないため、今回のようなシンポジウムがあれば知識が付き、より良い意見が出せると思うので、どんどんやって欲しい。
- ・行政の方は公的対応の限界を迎えている中、地域活動に出ていって感動しました。協働社会、市民参画を推進するために、行政の方には「中間支援」を考えて活動して欲しいです。
- ・実現させたいです。
- ・これまでの区民会議では、課題解決に向けての検討まででした。もし可能であれば、解決に取り組む期間や資金の助成が提供されることを望みます。「まちのひろば」では、まちの課題解決はできないと思います。

- ・実際にコミュニティを作られている方の具体的な話を聞くことができ、とても勉強になりました。
- ・「ソーシャルデザインセンター」の話が先行しているところがあるが、まちのひろば(現場視察)をまず行うべきだと思う。
- ・どのくらいの負担感になるのかにもよりますが、全くのボランティアでやっていけるか、その辺りの皆さんの意識を知りたいです。
- ・意見交換の場が定期的で開催されることも検討願います。
- ・横浜市では、子ども子育てのパブコメを集めるために、街中で既存のNPOやコミュニティが共働してたびたびワークショップを開催していると聞きました。住民参加の場づくりの検討を応援しております。
- ・行政の方が市民に近づいて来てくださっていることに希望を感じます。一回の時間としては長いけれども、掘り下げるには短いので、分科会を担当される方がどんな方か、あらかじめ知っておけたら質問など用意できたかなと思いました。
- ・小さく始められる。トライ&エラーで走り出せるしくみで始めたい。

🌀 当日の様子



